患者氏名 [　　] 性別

生年月日　　年　　月　　日生　[　　] 歳

茨城県心不全地域連携診療計画書

急性期医療機関

入院日	年　月　日		
施設名 主治医	（水戸済生会総合病院） （循環器内科）		
入院時の症状	□ 呼吸困難　□ 浮腫　□ その他（　）		
心不全の状態	症状が強く、酸素投与や静注治療薬が必要な状態		
経過	超急性期 入院～数日	安定期 数日～約2週間	退院日（　/　）
達成目標	□ 安静を守ることが出来る。 □ 呼吸が楽になる。	□ 酸素投与が終了する。 □ 心不全手帳を使用 □ 内服薬の必要性が理解できる。 □ 生活習慣の問題点が理解できる。 □ 退院に向けて多職種で話し合いを行う。	□ 呼吸状態が入院前の状態になる。 □ 服薬管理が出来る。 □ 心不全手帳を記載できる。
治療処置検査	・安静、酸素投与、薬物治療（点滴、内服）を行います。 ・病状に応じて採血、レントゲン、心電図などを行います。 ・必要に応じてカテーテル検査や治療、ペースメーカー治療、陽圧呼吸による治療等を行います。		
食事栄養	・原則、病院食以外は食べられません。 ・医師の指示の下、食事内容を変更します。 ・医師の指示の下、適切な水分摂取量の指導を行います。 ・心不全治療のための栄養指導を行います。		
リハビリ活動	・筋力低下を予防し、日常生活動作を改善するため、医師の指示の下、早期からの心臓リハビリテーションを行います。 ・状態に応じて医師の指示の下、安静度が変更します。		
説明指導	□ 医　師　：病状説明 □ 看護師　：生活指導 □ 理学療法士　：運動指導 □ 薬剤師　：薬剤指導 □ 栄養士　：栄養指導	日付 1回目 外　来	2回目
社会的項目	必要に応じて今後のことについて相談します。 □ 退院支援 □ 介護サービス等の利用 □ 医療費について □ 社会復帰について（就労・就学）		

回復期医療機関

転院日	年　月　日	
施設名 主治医	（　） （　）	
転院時の症状	□ 呼吸困難　□ 浮腫　□ その他（　）	
心不全の状態	症状は安定したが入院治療の継続やリハビリが必要な状態	
経過	転院日～退院 入院期間：およそ1～3か月程度	退院日 （　/　）
達成目標	□ 呼吸状態が悪化しない。 □ リハビリテーションが目標に達している。 □ 服薬管理が出来る。 □ 体重と水分の管理が出来る。 □ 心不全手帳を記載できる。 □ 退院に向けて多職種で話し合いを行う。	
治療処置検査	・病状に応じて採血、レントゲン、心電図などを行います。 ・内服薬や点滴を調整しながら治療を継続します。	
食事栄養	・原則、病院食以外は食べられません。 ・医師の指示の下、食事内容を変更します。 ・医師の指示の下、適切な水分摂取量の指導を行います。 ・必要時、栄養指導を行います。	
リハビリ活動	・筋力低下を予防し、日常生活動作を改善するため、医師の指示の下、リハビリテーションを行います。 ・状態に応じて医師の指示の下、安静度が変更します。	
説明指導	□ 医　師　：病状説明 □ 看護師　：生活指導 □ 理学療法士　：運動指導 □ 薬剤師　：薬剤指導 □ 栄養士　：栄養指導	
社会的項目	必要に応じて今後のことについて相談します。 □ 退院支援 □ 介護サービス等の利用 □ 医療費について □ 社会復帰について（就労・就学）	

維持期・生活期医療機関

転院日	年　月　日
施設名 主治医	（　） （　）
紹介時の症状	□ 呼吸困難　□ 浮腫　□ その他（　）
心不全の状態	症状がおおむねコントロールされ、自宅での生活が可能な状態
達成目標	□ 内服治療を継続し、食事・活動などの生活習慣に気をつけながら、再発予防が出来る。 □ 心不全手帳を毎日記載する。
治療検査	・内服治療を継続します。 ・体重・血圧管理を行います。 ・病状に応じて採血、レントゲン、心電図などを行います。 ・再発予防に取り組みます。
食事栄養	・塩分摂取量、水分摂取量について適切な指導を行います。
リハビリ活動	・日常生活の維持に向けて、筋力低下予防の運動指導を行います。
説明指導	□ 医師　：病状説明 □ 看護師：生活指導
社会的項目	・必要に応じて療養支援について相談を受けます。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

茨城県済生会　水戸済生会総合病院

TEL　029－254－9067　（地域医療連携室）
FAX　029－254－1637　（　〃　）
TEL　029－254－5151　（　代　表　）

2024/11/1 ver1.2